

来年も企画させていただきますので、皆様のご参加を心よりお待ちしております。



【会員投稿】

1. 「関東五期会の楽しい集い」

藤内 重幸 (5E)

昭和46年(1971)卒業の機械科、電気科、工業化学科の関東在住の有志で、約30年前から佐高専関東五期会を作り親睦をはかっています。当初は都内、横浜等での日帰り宴会でしたが、いつの頃からか一泊での開催となり、追加イベントも計画されます。最近は山登りが趣味の電気科M君の提案で山登りしています。



今までに、雨乞いで有名な大山、関東の名峰筑波山、人気の高尾山、陣場山等々登ってきました。今年は12/02～03の熱海開催に合わせ、12/02に岩戸山に登山を計画しましたが天候悪く中止、しかし翌12/03に二日酔いの数人で決行しました。十国峠の見晴らしは最高!

2019年懇親会の参加者は御夫婦連れを含み25名、九州、関西からの参加者もいました。宴会前の部屋ではあそこが悪い、ここが痛い、何々の病気治療中と言いな

らも気持は15歳の紅顔の少年そのまま。

宴会は例年通り各自の近況報告にチャチャを入れながら大いに盛り上がりました。

以前は夜が更けるのも忘れ2時、3時まで昔話をしていましたが、さすがにもう古希、10時過ぎには各部屋に撤収。翌朝は来年の再会を約し来年まで頑張るぞと意気揚々と帰路へ。

2. 「5C関西化学会」

西村 正次 (5C)

還暦が近くなった頃、それまでは連絡を取合うことも少なかったS46年卒業が集まり、「5C関西化学会」を発足させてからほぼ10年が経ちました。

当初は、大阪市内で懇親会とカラオケ(半年～1年毎程度)の日帰りが中心でしたが、だんだんと倉敷・福岡・佐世保そして関東からの参加とメンバーも増え、近年は奥さんも同伴の1泊の会合に変化しています。

まだ仕事持ちの人、年金暮らしの人、ボランティアに励む人とさまざまですが、話題は近況報告が少しと、佐世保時代の思い出がほとんどですが、きっと同じことを何回も繰り返していると思います。時間があっという間に過ぎていってしまうという感覚しか残っていません。



また、翌朝の食後にはほとんどのメンバーが揃って「薬」を飲む光景は、宴会は元気でも、さすがに「古希」を迎えたと感じるようになりました。

ちょっぴり気懸かりなのは、最近になり、体調不良で欠席する人が見られるようになってきたことですが、多感な青春時代を共有した仲間との「5C関西化学会」を続けて行きたいと思っているこの頃です。

3. 「会社生活を終えるにあたって学生への備忘録」

小森 豊明 (9M)

3月末に再雇用含めて45年間勤務した職場を完全にリタイアです。仕事は、入社以来一貫して火力発電の主機であるタービンに携わってきました。この業務において、学生時代の何が役立ったかについて筆をとりました。

教科書で3つ選びますと、熱力の蒸気表、機力の固有振動数計算と化工の熱伝達率計算です。しかし、一番役に立ったのは教科書ではなく、先生が講義中に力説された数値に対する学校と会社の違いです。

kmol体積を例にとってみますと、“解答用紙に“2.242Nm³”と記載した場合、学校では赤点じゃなくても、会社では赤点というか零点です。一方、“30Nm³”と書くと会社では及第点。”といった内容でした。要は、“桁を間違えな”の教えです。

入社後、業界原単位(蒸気1トン当たりの発電量とか)や経済指標(鉄1トン当たり幾らとか)を一生懸命覚えました。この教えは、ワード、エクセルの時代になって本当に役立ちました。弊社だけかも知れませんがコンピュータ万能時代、“アウトプットは正しい”という風潮が見受けられます。この結果、チェックが疎かになり、ある部署で購入クレームが発生しました。部品単価の感性が担当者であれば、防げたミスです。我が部署ではこのような能力を“感ピュータ”と言って重宝しています。

学生時代からこの“感ピュータ”のバージョンアップをお勧めします。ちなみに家庭で払っている電気代(円/kWh)幾らかご存じですか？

4. 「～ Life Assist + Technologies ～」

(株)LAplus (ラプラス) CEO 田中 宏樹 (47E)

自身の創り出したもので、身近な人を支えたい。そんな想いから起業して一年が経ちました。農業向けの生産支援ドローンの開発に取り組んでいますが、なかなか思

うようにいきません。技術はある。仲間もいる。まだまだ不十分ではあるものの、周りのスタートアップ企業と比較すると、とても恵まれた環境にあるように思います。

しかし会社運営となると、想定していた以上の経理や税務などの事務作業が、限られた労働力や時間を圧迫してきます。開発のためのタスクは、どれだけ無謀で困難であろうとも、その切迫感すら楽しみながらエキサイティングに取り組めますが、事務作業となると、ストレス以外の何者でもありません。

純粋に社会貢献したいだけなのに、社会がそうさせてくれない。そんな思考にすら陥ってしまいそうです。早く軌道に乗って、総務事務要員を確保し、開発に専念できる環境を整えたいと、切に願っています。

日々苦労の連続ですが、志が損なわれることは微塵もありません。私たちの作ったもので、「すごい!!」や「ありがとう!!」と言ってくれる人たちがいます。小さい会社だからこそ、それらの声をダイレクトに受け取ることができます。そんな言葉をもらった時の興奮は何事にも代え難いものです。そして、共に取り組める同志もいます。これまでの苦労はまだまだ序の口だと思いますが、人々に感動を与え、必要とされる会社を目指して、日々精進していきます!!



宮本電機株式会社

代表取締役 宮本 憲 電気工学科 1期卒業

本社 : 〒859-3153 長崎県佐世保市三川内新町8番地9

TEL : 0956-20-3103 FAX : 0956-20-3104

URL : <http://miyamoto-denkki.co.jp/>

宮本電機は生産設備分野の総合制御システムメーカーとして、40年以上の長きにわたり国内外の様々な企業から選ばれています。設計から製造、工事、調整、メンテナンスといった一貫生産体制の強みを活かし、お客様のご要望を実現し続けます。

関連会社

テムコン(株)・ロボットテクノス(株)・宮本商貿有限公司



弊社ホームページへ

【学生投稿】

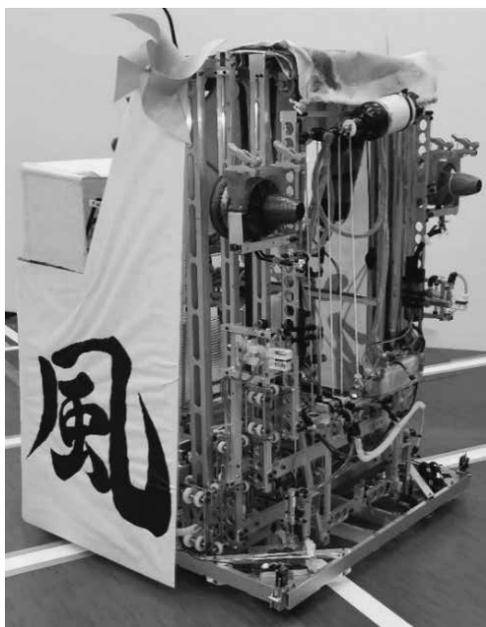
1. ロボコン出場

電子制御工学科4年 磯本 航世

このたびは全国大会に際しまして、ご支援していただき誠にありがとうございます。

ロボコン部は昨年度全国大会ベスト8および24年ぶり「技術賞」受賞を成し遂げ、その成果を自信とし今年一年さらなる成績を残せるように精進して参りました。その結果、九州沖縄地区大会でBチーム「アイデア賞」をいただき18年ぶりの2年連続全国大会出場となりました。一方、Aチームは安川電機賞を受賞しました。このような結果が残せたのも日頃から多大なご支援をいただいております同窓会の皆様、保護者の皆様、本校関係者のおかげだと感謝の念で一杯です。全国大会では通信不調という予期せぬトラブルに見舞われ初戦敗退となってしまいましたが、全国大会での反省を生かし来年につなげていきたいと思っております。

これからも、部活動をはじめ高専生活においてより一層精進していきますので、今後ともご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



2. 「全国総文祭・全国高専将棋大会を終えて」

電気電子工学科3年 三森 康平

今年は将棋を指す機会に恵まれ、心から将棋を楽しめた気がする。特に大会に向けて夜通し将棋を研究する時間は何とも言えない高揚感に包まれていた。

第43回全国高等学校総合文化祭2019さが総文（全国総文祭）では一局目こそ勝つことができたが、その後二連敗し決勝トーナメントに進むことはできず、全国大会のレベルの高さを感じた。

高専大会の、団体戦では、三人中二人負けたら即敗退の中、自分の負けを仲間が取り返してくれ決勝に進むことができた。決勝では、他二人の対局が終わり一勝一敗、自分の将棋で勝敗が決まる。最終盤、決めてやるぞという気持ちで詰ましにいったが読みの正確さが足りなかった。頭がぼーっとして「負けました」その言葉を言ったあと自分は読み切れなかった悔しさと勝てなかった申し訳なさで頭が一杯だった。集中が解け周りを見渡すとたくさんの人が見ていたことに気付いた。その後個人戦でも二位になり大会を終えた。自分でもびっくりするくらいの結果を残すことができたが、満足せず来年は必ず優勝したい。

3. 「令和元年度高専大会卓球競技への参加報告」

卓球部前キャプテン 電子制御工学科5年 蒲原 雅治

私達卓球部は昨年の8月23日～25日に、米子で行われた全国高専体育大会卓球競技、男子団体の部、男子シングルの部、男子ダブルスの部に参加してきました。

今回卓球部は、九州地区高専大会において男子団体、男子シングル、男子ダブルスのすべての競技で優勝し全国高専大会に出場しました。特に団体の部での優勝は数十年ぶりとのことで、長年の目標を達成することができました。私自身、毎年団体優勝を目標に練習に取り組んできただけに、とても感慨深いものがありました。こ



の大会の中で特に印象に残っているのは、男子シングルス決勝の4M在津君との試合です。この試合に勝ったほうが団体、シングルス、ダブルスの三冠ということもあり、互いに高い緊張感の中での試合となりました。結果はフルゲームの末負けてしまいましたが、とても良い内容の試合だったと思います。また、全国高専大会では団体戦で3位決定戦まで進んだものの、入賞まであと一歩というところで敗退してしまいました。最後の高専大会ということもあり悔しさもありましたが、全てを出し切ることができました。

佐高専卓球部は、新キャプテンを中心に日々練習に取り組んでいます。

今後の後輩達の活躍を願っています。最後になりましたが、日々指導して下さった顧問の先生方、ご支援くださったOB、同窓会の皆様、本当に有り難うございました。

【専攻科学生の学会発表】

専攻科2年 電気電子工学系
寺村研究室 川添 皓平

月 日：2019/12/27～29

場 所：東京ビッグサイト

展示会名：IIFES2019 オートメーションと計測の先端科学技術総合展

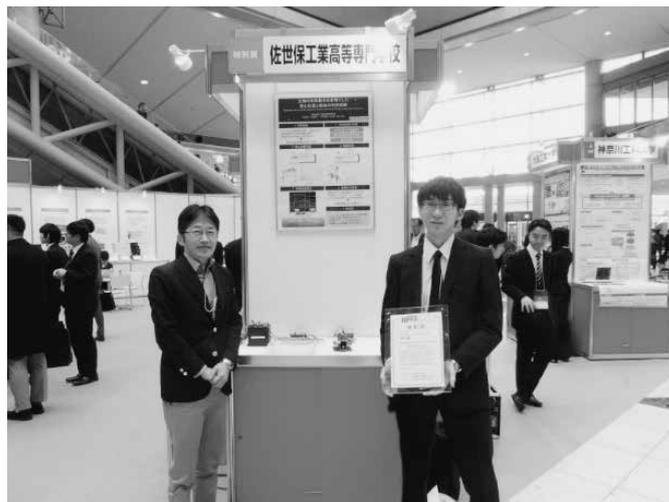
タイトル：生物の動作を参考にした重心位置の判別回路

今回、東京ビッグサイトで行われたIIFES2019にて展示とプレゼンテーションを行いました。展示ではブースにてポスターと研究の製作物を用いて、立ち寄ってくれた方々に研究の説明を行いました。また研究発表コンテストに参加し、並みいる著名大学がいるなか発表を競いました。結果として特別賞を頂くことができました。

寺村研究室では脳細胞の動作を参考にした判別回路について研究を行っています。研究回路の一番の特徴は高速処理です。脳細胞の処理動作を参考にし、従来の計算

機よりも数千倍速く処理することができます。また出力は従来と同じ方式であるため様々な機器に組み込むことができます。受賞ではこの高速処理と応用への可能性を評価されたのだと思います。

展示会参加の際には同窓会の皆様のご支援を受けさせて頂き非常に助けになりました。学会やイベント参加の励みになりますので、ぜひ今後ともご支援のほどよろしくお願い致します。



中興化成工業株式会社
CHUKOH CHEMICAL INDUSTRIES, LTD.

執行役員 営業第1本部長 大久保 篤 機械工学科 18期卒業

本社 〒107-0052 東京都港区赤坂 2-11-7 ATT 新館 10階 TEL 03-6230-4414 (代表)

F1 松浦工場 〒859-4521 長崎県松浦市今福町北免 1642-12 TEL 0956-73-8111 (代表)

URL : <https://www.chukoh.co.jp>

中興化成工業は1963年松浦市で創業以来、ふっ素樹脂を主力とした高機能樹脂の総合加工メーカーとして歩んできました。佐世保高専卒業生は18人が在籍し、お客様の課題にソリューションを提供するために各拠点で活躍しています。